

# 図書館だより

東田小学校  
令和 7年 7月 発行

## 読書感想文を書いてみよう！

読書感想文コンクールの趣旨は、

- ・子どもや若者が本に親しむ機会をつくり、読書の楽しさ、すばらしさを体験させ、読書の習慣化を図る。
- ・より深く読書し、読書の感動を文章に表現することをとおして、豊かな人間性や考える力を育む。更に、自分の考えを正しい日本語で表現する力を養う。（「読書感想文全国コンクール公式サイト」より抜粋）

つまり、「あー、読んでよかった！」だけで終わらず、読んでよかった理由となる発見や変化（自分の心やものの見方、考え方など）をくわしく言葉に書き表すことを目的としていると考えられます。

**読書感想文の書き方** ※1・2年生の人は、おうちの人といっしょによんでください。

### ①本を選ぼう

「あー、読んでよかった！」という本を探しましょう。課題図書は、それぞれの学年に合わせて選ばれた本なので、書きやすいと思いますが、自分で書店や図書館で選ぶのもよい出会いです。本が決まったら奥付（本の最後のページにある）を見ながら、応募票の「対象図書（読んだ本）」を書いておきましょう。

### ②読書感想文メモを書こう

裏面に読書感想文メモを用意しました。書けるところからどんどん書き込みましょう。低学年の人は、おうちの人とお話しながらメモをつくると、言いたいことがはっきりしてくると思います。全てのメモを埋める必要はありません。大きめのふせんに書き込んでメモ用紙に貼っていくと、書く順番を並び替えることもできます。

### ③読書感想文を書こう（下書き）

はじめ・中・終わりをどの行からどの行までに書くか、最初に考えておくと文を増やしたり減らしたりする目安になります。作文を書くときのきまりを守って書きましょう。メモをくわしくしていくイメージで書くと内容が深くなります。書けたら読み直しましょう。人に読んでもらおうとさらによいです。まちがえたところや伝わりにくいところがあれば、直します。下書きなので、ていねいに書く必要はありません。最後の行まで書きましょう。

### ④読書感想文を書こう（本番）

ていねいな字で書きましょう。書けたら応募票を完成させましょう。

### ☆おまけ

読書感想文全国コンクールの公式サイトから入選作品を読むこともできますので、参考にしてください。（学校のタブレットでは、アクセス制限がかかりましたので、ご家族のパソコンなどで検索してください。）

③ <sup>はな</sup>話した <sup>ことば</sup>言葉を書きたいときは、「。」をつける。

② <sup>か</sup>書き出しや <sup>ないよう</sup>内容（段落）が変わるときには、<sup>あ</sup>1ます空けて書く。

と	「	大	わ		話	わ	
言	わ	き	た		を	た	
い	た	く	し		し	し	
ま	た	い	は		よ	は	
し	し	き	、		う	、	
た	も	を	む		と	話	
。	や	す	ね		す	す	
	り	っ	が		る	こ	
	た	て	と		と	と	
	い	、	て		、	が	
	」		も			苦	
			ど			手	
			き			で	
			ど			す	
			し			。	
			た			だ	
			け			れ	
			れ			か	
			ど			に	

20 × 20

三年 東田 花子

原 <sup>げん</sup>こう <sup>ようし</sup>用紙の <sup>か</sup>書き方 <sup>かた</sup>

「ないた赤おに」を読んで

③、<sup>した</sup>や。<sup>か</sup>は、<sup>か</sup>ますの下に書くときもある。

① <sup>だいいい</sup>題名と <sup>がくねん</sup>学年、<sup>なまえ</sup>名前は、<sup>か</sup>ますの <sup>そと</sup>外に書く。

読書感想文 メモ (もっとメモを書きたい人は、ふせんに書いて貼るとよいです。)

## はじめ

どうして この本を読もうと思ったのか

タイトルを読んで思ったこと

本を読む前のぼく・わたし

## なか

自分だったら…こうすると思う

読みながら思ったこと・考えたこと① (知らなかった!すごい!など)

読みながら思ったこと・考えたこと② (ふしぎだったから、調べてみたら…)

なんでもメモ①  
(自分のまわりでもこんなことが…)

なんでもメモ②  
(主人公とにているところがうところ)

なんでもメモ③

## おわり

本を読んだ後のぼく・わたし  
(考え方が変わったこと)

これからの自分の生活で生かしたいこと・目標など

などなど、思いついたことをどんどん書いてみましょう。  
たくさん書けたら、2つか3つ選んで、作文しましょう。



地方審査によっては、応募要項のほかに規定を設けていて、本応募票が必要ない場合や別の応募票が必要な場合があります。必ず在籍校にご確認ください。

記入前にご確認ください

1. この応募票は応募者本人、保護者が記入してください。
2. わかりやすく楷書で記入し、作品の一番上に貼付し、右肩をとじてください。
3. 「対象図書」欄は対象図書を特定するため、もれなく記入してください。審査会では対象図書を参照します。
4. 記入もれや、誤った情報は審査ができない場合がありますので、正確に記入してください。
5. 応募作品・題名・対象図書名、および応募者氏名・学校名・学年は、公表することがあります。ご了承のうえ、記入してください。

読むこと、書くこと、自分を知ること。 <b>第71回 青少年読書感想文 全国コンクール</b>		<b>応募票</b>		※提出は在籍校へお願いします 応募区分 課題読書 自由読書 (○で開んでください)	
感想文の題名					
所 属	(ふりがな) 学校名	愛知 豊橋 市立 東田小 学校 (とよはししりつ あずまだしょうがっこう)			
	学校所在地 ・担当者名 (電話番号は市外局番 から記入してください)	(〒440-0065) (電話 0532-62-0448) (所在地 愛知県豊橋市仁連本町15番地) (担当者名 三宅 翔代) (E-mail azumada-e@toyohashi.ed.jp)			
応募者	部・学年	小低・小中・小高・中学・高校	学 年	年	
	(ふりがな) 氏名	( )	生年月日・年齢 ※高校生のみ記入 年 月 日生( 歳)		
対象図書 (読んだ本)	書名	*サブタイトルも必ずご記入ください			
	著者・編者・訳者・画家				
	シリーズ名・文庫名				
	発行所・発行年	発行所	発行年	年	
	定価・大きさ・ページ数	定価	大きさ	ページの長さ	ページ数
感想文執筆に際し 参考にした資料の有無 (どちらかを○で囲んでください)	有・無	(参考にしたもののタイトルやWebアドレス等を具体的に記入してください)			
応募作品と応募票に記入した情報を公表することがあります。 すべてご同意いただいたうえで、チェック <input checked="" type="checkbox"/> を入れてください。 <input type="checkbox"/> 了承します					

※点線で切り取って作品に添付してください。  
 ※本票はA4用紙で印刷されることを想定して作成しています。